令和6年度 第2回 袖ヶ浦市地域総合支援協議会

1 開催日時 令和6年10月17日(木) 午前10時開会

2 開催場所 袖ヶ浦市市民会館 中ホール

3 委員名簿

会長	関口 幸一	委員	手塚 正二
委員	関口 三枝子	委員	松田 香
委員	清川 織恵	委員	並木 美幸
委員	高野 圭介	委員	剣持 敬太
委員	清水 由明	委員	小野 隆司
委員	千葉 朋緒	委員	山上 拓也
委員	鈴木 大介	委員	金子 則彦

(欠席委員)

副会長	石井 啓	委員	竹元 悦子
委員	大熊 賢滋	委員	池田 美里
委員	竹中 講輔		

4 出席職員

障がい者支援課 課長	森本 芳弘
副課長	須藤 浩二
支援班主査	篠原 知華

5 傍聴定員と傍聴人数

傍聴定員	5人	傍聴人数	2人
------	----	------	----

6 議題

- (1) 実務者会からの活動報告について
- (2) 相談支援部会からの活動報告について
- (3) 袖ヶ浦市相談支援事業所の中間報告について
- (4) 日中サービス支援型共同生活援助の事業評価について
- (5) 袖ヶ浦市障がい福祉計画(第6期)及び袖ヶ浦市障がい児福祉計画(第2期)における令和5年度の実績・評価について
- (6) その他

議 事

発 言 者	発言内容・決定事項等
<p>事務局 (須藤副課長)</p>	<p>開 会</p> <p>定刻となりましたので、ただ今より、令和6年度第2回袖ヶ浦市地域総合支援協議会を開会いたします。</p> <p>本日はお忙しい中ご出席いただき、ありがとうございます。ただいまの出席委員は、13名であり、委員の過半数が出席しておりますので、袖ヶ浦市地域総合支援協議会設置要綱第6条第2項に規定するとおり、会議が成立したことをご報告いたします。なお、石井委員、竹元委員、池田委員、竹中委員、大熊委員から欠席のご連絡、及び清水委員からは遅れる旨の連絡をいただいていることも併せてお伝えいたします。</p> <p>次に、本日の会議は、袖ヶ浦市附属機関等の会議の公開に関する要綱に基づき公開となっており、傍聴の受付を行い、2名の傍聴申し込みがありました。</p> <p>傍聴人におかれましては、傍聴要領をご確認いただき、会議の円滑な進行にご協力くださいますようお願いいたします。</p> <p>また、会議の公開にあたり、本日の協議会は会議録作成のため録音させていただき、要点筆記により取りまとめ、会議録を公開させていただきますので、ご了承ください。</p> <p>続きまして、本日の会議資料の確認をさせていただきます。送付させていただきました資料ですが、会議次第、議題1資料、議題2資料、議題3資料、議題4資料①、②、議題5資料となります。ご不足等はございませんでしょうか。</p> <p>それでは、次第に沿って会議に入らせていただきます。</p> <p>はじめに、本協議会の関口会長より、ご挨拶をいただきたいと存じます。</p> <p>(あいさつ)</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、これより、議事に入ります。</p> <p>これからの議事進行につきましては、袖ヶ浦市地域総合支援協議会設置要綱第6条第1項の規定により、関口会長をお願いいたします。</p>
<p>関口会長</p>	<p>それでは、議題1「実務者会からの活動報告について」、実務者会より説明をお</p>

	<p>願います。</p>
松田委員	<p>——「袖ヶ浦市地域総合支援協議会実務者会 報告書（案）」の説明——</p>
関口会長	<p>実務者会のリーダーから順番に、説明をお願いします。</p>
子どもチーム （谷）	<p>——「活動の報告、提言」についての説明——</p>
おとなチーム （進藤）	<p>——「活動の報告、提言」についての説明——</p>
高齢チーム （岡部）	<p>——「活動の報告、提言」についての説明——</p>
災害チーム （田丸）	<p>——「活動の報告、提言」についての説明——</p>
普及啓発チーム （萩野）	<p>——「活動の報告、提言」についての説明——</p>
外出チーム （佐久間）	<p>——「活動の報告、提言」についての説明——</p>
関口会長	<p>ありがとうございました。続いて、議題2「相談支援部会からの活動報告について」、説明をお願いします。</p>
相談支援部会 （山崎）	<p>——「相談支援部会からの活動報告について」の説明——</p>
関口会長	<p>ありがとうございました。何か、確認したいこと、ご質問がありましたら挙手にてお願いします。</p>
清川委員	<p>こどもチームのご報告で、施設側と保護者側で希望する支援レベルの内容に乖離があるということですが、乖離というと強い言葉だと思うので、具体的なエピソードがあれば教えていただきたいです。</p>
こどもチーム （谷）	<p>施設の者ではないので、具体的なエピソードをお話しするのは難しいところですが、発達支援の施設に通うようになった時に、保護者様があまりその施設のことを調べずに利用し、自分の子供にはあまり合っていないのではないかと考えてしまったりとか、施設を利用し始めた時に、最初のアプローチはあったが、その後の支援が続かなかったりしたことがあったようです。そのあたりが乖離なく、施設のこと知り、支援内容も知って利用するために、詳しい説明をする機会があるといいという</p>

清川委員	<p>ことを現場の職員が感じたことがあるようです。</p> <p>その状況を上手にやっていくのが相談支援専門員の仕事であるとか、障がい者支援課での案内であるとか、えがお袖ヶ浦などでやらなくてはならないことなのかなと思いますが、ご両親にしたら子供の発達はすごく気になるし、どうにか改善してほしいというところと、保護者と施設がうまくマッチングすれば一番良いと思うが、マッチングするほど施設も選べない現状があるなかで、施設側だけが責められるのもおかしいし、ご家族の方も情報収集するための手立てを考えないといけないのかなと思います。お子さんもすごく増えているし、早めに対応しなければならない状況なのかなと思います。</p>
関口会長	<p>ありがとうございます。この問題は意外と子供だけではなく、施設がそれぞれの希望に添えればいいのかもしれませんが、なかなかそうもいかないところがありますが、相談員さんの力を借りながら、少しでもマッチングできるようになるといいと思います。</p> <p>他に無いようでしたら、議題3「袖ヶ浦市相談支援事業所の中間報告について」、説明をお願いします。</p>
相談支援事業所 えにし（大塚）	<p>——「袖ヶ浦市障害者相談支援事業所（えがお袖ヶ浦）の中間報告」についての説明——</p>
関口会長	<p>ありがとうございました。何か、確認したいこと、ご質問がありましたら、挙手にてお願いいたします。</p>
関口（三）委員	<p>相談員が不足、サービスが利用できないことが多いということですが、高齢化が進み事情が変わっていくなかで利用したいという方が増えていくと思うが、市の方で何か対応を検討していく予定はあるのでしょうか。</p>
相談支援事業所 えにし（大塚）	<p>現状として相談支援専門員が1事業所に一人しかいないというところが市内に何か所もあり、一人が抱えている件数が150件以上になる相談員もいます。相談員がなかなか増えない現状としては、収益がなかなか上がりづらい事業であるので、相談員を増やすとか、市内で相談支援事業所が新たに立ち上がるといったことがなかなか難しいという現状があります。</p>
事務局 （須藤副課長）	<p>相談支援専門員を増やす、事業所を増やすといったことは、すぐにできるということではありませんが、近年相談員が不足しているといった状況は把握しております。</p>

<p>関口会長</p>	<p>市の対応といたしましては、児童において、昨年度よりセルフプランを導入しており、専門員がつかなくてもサービスが利用できる形をとっております。現状サービスが利用できない方についても、同じような形で、自らが計画し自らが利用するといったことでサービスの利用に結び付けば、少しでも問題が解消されるかと考えます。ですが、セルフプランにも懸念材料がありますので、そのようなことを踏まえ今後検討していきたいと思っております。</p> <p>その他に何かご質問等はないでしょうか。</p> <p>無いようでしたら、ここで実務者会の皆様は退席となります。</p> <p>——実務者会 退席——</p>
<p>事務局 (須藤副課長)</p>	<p>では、続きまして、議題4「日中サービス支援型共同生活援助の事業評価について」事務局より説明をお願いします。</p>
<p>関口会長</p>	<p>——「日中サービス支援型共同生活援助の事業評価について」1件目「大久保学園代宿第二グループホーム」の説明——</p>
<p>関口会長</p>	<p>ありがとうございました。何か、確認したいこと、ご質問がありましたら、挙手にてお願いいたします。</p> <p>これまでこの協議会では、日中を他の事業所で過ごすということは日中支援型としてはどうなのかという意見が出ていましたが、調べたところ、外の事業所を利用しない形の運営は成り立たないようです。なるべく日中活動サービスを利用することは、むしろ推奨されているようです。本件については、このような形をとっており、評価できると考えます。</p> <p>また、閉鎖的にならないよう地域行事に参加したりして、地域に開かれた運営をされているようで、今後も継続していただきたいと思っております。</p> <p>他に無いようでしたら、2件目の説明をお願いいたします。</p>
<p>事務局 (須藤副課長)</p>	<p>——「日中サービス支援型共同生活援助の事業評価について」2件目「サエラ蔵波」の説明——</p>
<p>関口会長</p>	<p>ありがとうございました。何か、確認したいこと、ご質問がありましたら、挙手にてお願いいたします。</p>
<p>関口会長</p>	<p>こちらについても、先ほどと同じように日中活動サービスを利用されているとい</p>

<p>事務局 (須藤副課長)</p>	<p>うことですし、利用できない時には内部で日中の活動サービスを提供されているということで、ご家族の方も安心感があるのではないかと思います。従いまして、評価できるという市の意見は妥当と考えます。</p> <p>他に無いようでしたら、議題5「袖ヶ浦市障がい福祉計画（第6期）及び袖ヶ浦市障がい児福祉計画（第2期）における令和5年度の実績・評価について」、事務局より説明をお願いします。</p> <p>——「袖ヶ浦市障がい福祉計画（第6期）及び袖ヶ浦市障がい児福祉計画（第2期）における令和5年度の実績・評価について」の説明——</p>
<p>関口会長</p>	<p>ありがとうございました。何か確認したいこと、ご質問がございましたら、挙手にてお願いいたします。</p>
<p>関口会長</p>	<p>在宅の医療的ケア児について、災害時停電が発生した場合、命にかかわる状況が出てくるのではないかと思います。そのような時、今から対策を考えて、停電しても利用できる設備があるようにするなど、地域のみんなで検討していく必要があるのではないかと思います。行政だけの問題ではないと考えます。</p> <p>また、A型の事業所がどんどん倒産しているという問題があるようです。障害者の就業関係が厳しい中で、これから先一般就労も考えないといけなくなってくるかと思しますので、相談支援事業所なども丁寧に対応していく必要があるのかなと考えます。</p>
<p>関口会長</p>	<p>その他にかありますかでしょうか。</p> <p>無いようですので、続きまして、議題6「その他」について、事務局よりお願いいたします。</p>
<p>事務局 (須藤副課長)</p>	<p>会議録作成について、開会時に事務局よりお伝えいたしましたが、皆さまに送付いたしますので、内容をご確認のうえ、修正等ありましたらご連絡いただければと思います。皆様の確認が終わりましたら、公開させていただきたいと思います。</p> <p>次に、第3回の地域総合支援協議会についてお知らせします。第3回の協議会は、令和7年3月19日（水）午前10時を予定しておりますので、よろしく願いいたします。</p>
<p>関口会長</p>	<p>全ての議題が終わりました。これで議事を終了いたします。皆さまご協力ありがとうございました。</p>
<p>事務局 (須藤副課長)</p>	<p>関口会長ありがとうございました。</p> <p>以上をもちまして、袖ヶ浦市地域総合支援協議会を閉会といたします。本日は長</p>

	時間にわたり、誠にありがとうございました。
--	-----------------------

令和6年度第2回 袖ヶ浦市地域総合支援協議会

日時 令和6年10月17日(木)
午前10時から
場所 袖ヶ浦市民会館 中ホール

次 第

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 議題
 - (1) 実務者会からの活動報告について
 - (2) 相談支援部会からの活動報告について
 - (3) 袖ヶ浦市相談支援事業所の間接報告について
 - (4) 日中サービス支援型共同生活援助の事業評価について
 - (5) 袖ヶ浦市障がい福祉計画(第6期)及び袖ヶ浦市障がい児福祉計画(第2期)における令和5年度の実績・評価について
 - (6) その他
- 4 閉会

袖ヶ浦市地域総合支援協議会会長 様

報 告 書 (案)

令和6年10月17日

袖ヶ浦市地域総合支援協議会実務者会

1 はじめに

実務者会では、令和6年3月15日の袖ヶ浦市地域総合支援協議会の指示にもとづき各チームが活動を重ねて参りました。

今年度の前期の報告、まとめについてご報告いたします。

2 検討状況

資料1のとおり。

3 メンバー

資料2のとおり。

4 報告

(1) 各チームの報告の概要

子どもチーム	袖ヶ浦市民（特に児童）が利用可能である福祉施設（療育支援施設等）の調査。市内（外）の福祉施設のデータベース化及び市内の福祉施設について保護者及び子育て支援担当職員向けの資料作成のため、施設情報様式等の検討を行う。児童発達支援・放課後等デイサービスふたばの施設見学。
おとなチーム	ひきこもりの状態にある方の支援に関わっている機関同士で、互いに連携して支援を行うことができるようなネットワークを構築するという目標に向けて、上半期は昨年度リストアップした、ひきこもりの方の支援に関わっている機関を対象にしたアンケート調査を実施した。アンケートでは“普段ひきこもりの方に対してどのような支援を行っているか”“ひきこもりの方の支援で課題と感じている点は何か”“ひきこもりの方の支援に関わっている機関同士で連携を図るための会議を開催する場合に参加は可能か”等について調査した。その後、各機関から返ってきたアンケートの回答を委員で確認し、下半期の方向性を検討した。
高齢チーム	前年度の活動で「こころとからだの相談窓口」案内チラシ配布の活用を見直しチラシを見やすくしわかりやすく作成を検討し配布箇所の拡大を模索して行く。
災害チーム	災害時にどのような手順・対応が必要だったかを考える準備として、DWAT経験のある方にご協力をいただき研修会を行った。研修会を通して災害時の現状把握を行うと共に、災害チームとして何が出来るかを話し合った。
普及啓発チーム	袖ヶ浦市地域総合支援協議会のホームページの維持管理・各チームの活動内容の更新を引き続き行っていく。地域全体の連携を強化し、住民の生活の質を向上させるため情報発信の効果やニーズを探り、ホームページだけでなく様々な方法で普及啓発に取り組んでいきたい。チラシ配布についてもどのような場所に配布するかなど検討が必要である。
障がいのある	昨年度作成した袖ヶ浦駅北口ゆりまちモール版の配布をおこなった。

<p>方が外出しや すい街づくり チーム</p>	<p>配布先に行けない方が情報を得るためのツールとして、過去に作成したマップのQRコードを載せたチラシを作成した。福祉団体で開催されるイベントでの配布をおこない、その他の活用方法については、今後検討をおこなう。また、今期の主となる活動として長浦駅前商店街版のリニューアルをおこなう。当初は、変更店舗のみアンケートをおこない、情報の修正をおこなうこととしたが、実地調査をおこなっている中で掲載されていない店舗や業態変更をしている店があり、改めて全ての店舗にアンケート調査をおこない、マップの修正をおこなっていく。</p>
----------------------------------	---

注 詳細は資料3のとおり

(2) 全体に関する報告

昨年度からのチーム毎の課題を整理し、継続性をもちながら活動が行われた。

5 提言

(1) 各チームからの提言

<p>子どもチーム</p>	<p>市内の福祉施設について保護者及び子育て支援担当職員向けの資料作成に向け、施設情報様式の検討を行う。また、来年度以降、袖ヶ浦市内福祉施設のデータベース化に向け、各施設へ個別に情報収集を行っていく。 チーム参加者内での話し合いで、施設側と保護者での希望する支援レベルの内容に乖離があることで、児童の特性に合っていない支援が続けられており、適切な支援に移れていないことも多々あるということが改めて共通の認識を得た。保護者が療育支援に関してポジティブなイメージを持てるよう、早期の対応により状況が改善した成功体験の周知、支援を必要とする子どもたちに具体的にどのような療育・指導が出来るのか、保護者に広く周知できる機会(事業所の説明会、福祉の体験イベントなど)が市担当課主導や支援協議会との協働で企画出来るような働きかけも行っていきたい。</p>
<p>おとなチーム</p>	<p>今回アンケートに回答いただいた機関に対して、ひきこもりの支援に関わる機関同士による顔合わせと情報共有の場を設けることを提案し、参加を依頼。今年度中の開催実現を目指す。その後は、厚生労働省が作成した「ひきこもりの評価・支援に関するガイドライン」にて提示されている4つの支援段階(①出会い・評価段階 ②個人的支援段階 ③中間的・過渡的な集団との再会段階 ④社会参加の試行段階)について、それぞれの機関がどの段階で関わるかというマッピングを行い、次年度以降の活動につなげていく。</p>
<p>高齢チーム</p>	<p>前年度のチラシを事業所等に設置したが、活用実績が少ない為チラシを簡潔に見やすくしより多くの方々に見てもらう様配布場所を地域に向け回覧板、地域のイベント、学校等で検討する。地域でチラシを活用し在宅等で支援を受けていない方などの掘り起こしを考慮し支援を必要としている方々の道筋を繋ぐ事を課題とし後期活動を行います。</p>

災害チーム	前期の話し合いを踏まえ、後期は避難行動要支援者支援制度で安否確認など支援の手を差し伸べる事が出来ない要支援者の絞り込みを行う。新たに特定した要支援者が被災した際に起こりえる問題を洗い出し、誰が支援を行うかについて検討を行う。
普及啓発チーム	地域へどう発信すれば浸透し必要な方々に資源・支援が行きわたるのかを検討する必要がある。
障がいのある方が外出しやすい街づくりチーム	長浦駅前商店街版マップリニューアルにあたり、アンケート内容が一般の店舗では回答がしにくいと思われる内容であったため、アンケート内容の修正をおこなった。今年度中に長浦駅前商店街版マップリニューアルを完成させるほか、QRコード版チラシの活用方法などの検討をおこなっていく。

(2) 後期の活動について

前期に引き続き、チーム別に上記の提言通り、検討をすすめるものとしたい。

検討状況

会議名	開催日時	会場	メンバー	参加人数	内容
運営会議	3月29日(金) 10:00～ 11:00	地域包括相談室	運営会議メンバー	9名	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度のスケジュールの確認 ・リーダー会について ・実務者会メンバー依頼について
運営会議	4月26日(金) 10:00～ 11:00	袖ヶ浦市役所 北庁舎5階会議室	運営会議メンバー	9名	<ul style="list-style-type: none"> ・各チームのメンバー編成 ・前半の活動予定の確認
実務者全体会	5月27日(月) 10:00～ 12:00	袖ヶ浦市役所 北庁舎3階中会議 室・小会議	実務者会メンバー	45名	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の実務者会の活動計画 ・リーダーの選出
リーダー会議	5月31日(金) 10:00～ 11:00	袖ヶ浦市役所 北庁舎3階小会議室	各チームリーダー	14名	<ul style="list-style-type: none"> ・各チームの活動について
リーダー会議	9月6日(金) 10:00～ 11:00	袖ヶ浦市役所 北庁舎3階中会議室	各チームリーダー	14名	<ul style="list-style-type: none"> ・各チームの進捗状況 ・総合支援協議会への提言のまとめ
実務者全体会	9月10日(火) 10:00～ 12:00	袖ヶ浦市役所 北庁舎3階中会議 室・災害対策室	実務者会メンバー	47名	<ul style="list-style-type: none"> ・各チーム前半最終まとめ

子どもチーム 報告

1、前期の活動内容のまとめ

- ・袖ヶ浦市民（特に児童）が利用可能である福祉施設（療育支援施設等）の調査
- ・市内（外）の福祉施設のデータベース化及び市内の福祉施設について保護者及び子育て支援担当職員向けの資料作成のため、施設情報様式等の検討を行う。
- ・児童発達支援・放課後等デイサービスふたばの施設見学

2、活動経過

- 第1回 令和6年 7月 4日（木） 10:00～11:00 保健センター2階研修室
出席者：4名
内 容：市内（外）の福祉施設の情報資料について情報収集結果の話し合い。
袖ヶ浦市版 福祉施設一覧資料の施設情報様式について検討。
上半期「児童発達支援・放課後等デイサービスふたば」施設見学について詳細確認。
- 施設見学 令和6年 7月31日（水） 11:00～13:00
見学場所：児童発達支援・放課後等デイサービスふたば
出席者：4名
内 容：今年度の子どもチームメンバーに「児童発達支援・放課後等デイサービスふたば」の管理者である内藤氏が出席しているため、見学の機会を頂いた。
施設の概要、施設内生活の一日の流れ、職員配置や医療的ケア児童のケア方法について見学を行った。
- 実務者全体会 令和6年 9月10日（火） 10:00～12:00
出席者：7名
内 容：各施設での障がい児や気になる児童の支援方法について
支援を必要とする児童・親への支援施設・詳しい支援内容の周知方法について

3、提言

市内の福祉施設について保護者及び子育て支援担当職員向けの資料作成に向け、施設情報様式の検討を行う。また、来年度以降、袖ヶ浦市内福祉施設のデータベース化に向け、各施設へ個別に情報収集を行っていく。

チーム参加者内での話し合いで、施設側と保護者での希望する支援レベルの内容に乖離があることで、児童の特性に合っていない支援を続けられており、適切な支援に移れていないことも多々あるということが改めて共通の認識を得た。保護者が療育支援に関してポジティブなイメージを持てるよう、早期の対応により状況が改善した成功体験の周知、支援を必要とする子どもたちに具体的にどのような療育・指導が出来るのか、保護者に広く周知できる機会（事業所の説明会、福祉の体験イベントなど）が市担当課主幹や支援協議会との協働で企画出来るような働きかけも行っていきたい。

おとなチーム 報告

1、前期の活動内容のまとめ

おとなチームでは、ひきこもりの状態にある方の支援に関わっている機関同士で、互いに連携して支援を行うことができるようなネットワークを構築するという目標に向けて、上半期は昨年度リストアップした、ひきこもりの方の支援に関わっている機関を対象にしたアンケート調査を実施した。アンケートでは“普段ひきこもりの方に対してどのような支援を行っているか” “ひきこもりの方の支援で課題と感じている点は何か” “ひきこもりの方の支援に関わっている機関同士で連携を図るための会議を開催する場合に参加は可能か”等について調査した。その後、各機関から返ってきたアンケートの回答を委員で確認し、下半期の方向性を検討した。

2、活動経過

○ 第1回 5月27日（月）10:00～12:00 袖ヶ浦市役所 北庁舎3階中・小会議室

出席者：7名

内容：昨年度までの振り返りと今年度の取り組み内容について

○ 第2回 6月27日（木）10:00～12:00 袖ヶ浦市役所 北庁舎4階議会会議室

出席者：7名

内容：ひきこもり支援の関係機関に送るアンケートの内容について

○ 第3回 7月22日（月）10:00～12:00 袖ヶ浦市役所 北庁舎3階災害対策室

出席者：6名

内容：ひきこもり支援の関係機関に送るアンケートの内容及び実施方法について

○ 第4回 8月20日（火）14:00～16:00 袖ヶ浦市役所 北庁舎5階会議室

出席者：7名

内容：ひきこもり支援の関係機関に送ったアンケートの回答について

○ 第5回 9月10日（火）10:00～12:00 袖ヶ浦市役所 北庁舎3階中会議室

出席者：8名

内容：下半期の活動について

3、提言

今回アンケートに回答いただいた機関に対して、ひきこもりの支援に関わる機関同士による顔合わせと情報共有の場を設けることを提案し、参加を依頼。今年度中の開催実現を目指す。その後は、厚生労働省が作成した「ひきこもりの評価・支援に関するガイドライン」にて提示されている4つの支援段階（①出会い・評価段階 ②個人的支援段階 ③中間的・過渡的な集団との再会段階 ④社会参加の試行段階）について、それぞれの機関がどの段階で関わるかというマッピングを行い、次年度以降の活動につなげていく。

高齢チーム 報告

1、前期の活動内容のまとめ

前年度の活動で「こころとからだの相談窓口」案内チラシ配布の活用を見直しチラシを見やすくしわかりやすく作成を検討し配布箇所の拡大を模索して行く。

2、活動経過

第 1 回 6 月 27 日 (木) 13:00 ~ 14:30 市役所中庁 4 階会議室

出席者： 6 名

内容： 在宅の方を中心とした支援を考慮し前年度作成したチラシを見直し配布場所等も検討する。

第 2 回 7 月 25 日 (木) 13:00 ~ 14:30 市役所北庁 4 階会議室

出席者： 6 名

内容： チラシを分かりやすく見やすくする様新たに作成を行い、配布先を地域の方々にも見てもらうよう話し合う

第 3 回 9 月 10 日 (火) 10:00 ~ 12:00 市役所北 3 階会議室

出席者： 6 名

内容： 前期の報告、後期での活動内容検討。

3、提言

前年度のチラシを事業所等に設置したが、活用実績が少ない為チラシを簡潔に見やすくしより多くの方々に見てもらう様配布場所を地域に向け回覧板、地域のイベント、学校等で検討する。地域でチラシを活用し在宅等で支援を受けていない方などの掘り起こしを考慮し支援を必要としている方々の道筋を繋ぐ事を課題とし後期活動を行います。

災害チーム 報告

1、前期の活動内容まとめ

災害時にどのような手順・対応が必要だったかを考える準備として、DWAT 経験のある方にご協力をいただき研修会を行った。

研修会を通して災害時の現状把握を行うと共に、災害チームとして何が出来るかを話し合った。

2、活動経過

○ 第1回 6月18日(火) 13:30~14:30

出席者: 7名

内容: 次回行われる研修会の資料を基に、災害チームとして質問したい内容を纏めた。

○ 第2回 7月9日(火) 13:30~15:30

出席者: 9名

内容: 研修会「千葉県災害福祉支援チーム DWAT 令和6年1月能登半島地震派遣」

講師: 社会福祉法人いずみ会 相談支援センター晴

主任相談支援専門員 山崎 みどり 様

○ 第3回 8月6日(火) 13:30~14:30

出席者: 8名

内容: 研修会の振り返り。

前期の活動内容まとめの話し合い及び、後期の活動方針の話し合い。

3、提言

前期の話し合いを踏まえ、後期は避難行動要支援者支援制度で安否確認など支援の手を差し伸べる事が出来ない要支援者の絞り込みを行う。

新たに特定した要支援者が被災した際に起こりえる問題を洗い出し、誰が支援を行うかについて検討を行う。

普及啓発チーム 報告

1、前期の活動内容のまとめ

袖ヶ浦市地域総合支援協議会のホームページの維持管理・各チームの活動内容の更新を引き続き行っていく。

地域全体の連携を強化し、住民の生活の質を向上させるため情報発信の効果やニーズを探り、ホームページだけでなく様々な方法で普及啓発に取り組んでいきたい。
チラシ配布についてもどのような場所に配布するかなど検討が必要である。

2、活動経過

○ 第1回 5月 27日(金) 10:00 ~ 12:00 袖ヶ浦市役所北庁舎 3階中・小会議室

出席者： 5名

内容： ・リーダー、サブリーダーの選出
・昨年度の振り返り
・今年度の活動内容など

○ 第2回 7月 25日(木) 10:00 ~ 11:00 袖ヶ浦市役所北庁舎 3階会議室

出席者： 4名

内容： ・リーダー会からの助言
・社会資源の活用について

○ 第3回 8月 29日(木) 10:00 ~ 11:00 袖ヶ浦市役所中庁舎 4階会議室

出席者： 5名

内容： ・えがお袖ヶ浦のチラシ配布について
・基幹相談への相談件数など
・社会課題(地域全体への情報不足・地域支援不足など)の取り組みの土台作り

○ 第4回 9月 10日(火) 10:00 ~ 12:00 袖ヶ浦市役所北庁舎 3階会議室

出席者： 4名

内容： ・前期のまとめ、後期の活動について
・他チームとの連携について
・80/50 や引きこもりなど社会課題について
・60/30 問題について

3、提言

・地域へのどう発信すれば浸透し必要な方々に資源・支援が行きわたるのかを検討する必要がある。

<実行上の課題>

・各チームとの連携

<今後の課題>

・困難ケースの連携先
・地域への情報発信・方法など
・民生委員にもチラシ配布し地域支援へ繋ぐ

障がいのある方が外出しやすい街づくりチーム 報告

1、前期の活動内容のまとめ

昨年度作成した、袖ヶ浦駅北口ゆりまちモール版の配布をおこなった。

配布先に行けない方が情報を得るためのツールとして、過去に作成したマップのQRコードを載せたチラシを作成した。福祉団体で開催されるイベントでの配布をおこない、その他の活用方法については、今後検討をおこなう。

また、今期の主となる活動として長浦駅前商店街版のリニューアルをおこなう。当初は、変更店舗のみアンケートをおこない、情報の修正をおこなうこととしたが、実地調査をおこなっている中で掲載されていない店舗や業態変更をしている店があり、改めて全ての店舗にアンケート調査をおこない、マップの修正をおこなっていく。

2、活動経過

○ 第1回 6月 27日(木) 10:00～11:30 袖ヶ浦市役所北庁舎5階会議室
出席者：7名
内容：ゆりまちモール版マップの配布先検討・配布担当者決め
QRコード版チラシの作成

○ 第2回 7月 25日(木) 10:00～11:00 袖ヶ浦市役所北庁舎3階防災対策室
出席者：6名
内容：ゆりまちモール版マップ配布状況の確認
QRコード版チラシ案提示・意見集約
長浦駅前商店街版マップリニューアル事前調査と今後の進め方について
ポケット版の作成検討→次年度以降に検討

○ 第3回 8月 29日(木) 10:00～11:30 袖ヶ浦市役所北庁舎5階会議室
出席者：6名
内容：QRコード版チラシ修正案提示・使用場面の検討
長浦駅前商店街版マップリニューアル事前調査報告とアンケート調査割振り
アンケート様式の内容修正

3、提言

長浦駅前商店街版マップリニューアルにあたり、アンケート内容が一般の店舗では回答がしにくいと思われる内容であったため、アンケート内容の修正をおこなった。

今年度中に長浦駅前商店街版マップリニューアルを完成させるほか、QRコード版チラシの活用方法などの検討をおこなっていく。

袖ヶ浦市地域総合支援協議会会長 様

報 告 書 (案)

令和6年10月17日

袖ヶ浦市地域総合支援協議会相談支援部会

相談支援部会 報告

1、前期の活動内容のまとめ

今年度前期も毎月1回開催しました。前期の活動ではグループスーパービジョンを3回実施した。4月に報酬改定があったため、市の障がい者支援課より説明をしていただく機会を持った。また、6月には各相談支援事業所が普段利用させていただいている事業所を紹介しあい、情報交換をしました。参加メンバーからの近況報告や新しくできた事業所の情報共有、教えて欲しいこと等を出し合い意見交換を行った。

2、活動経過

- ・第1回 4月18日(木) 10:00~12:00 袖ヶ浦市役所北庁舎5階会議室
出席者 9名
内容: 年間予定の確認、報酬改定について、情報共有
- ・第2回 5月27日(月) 10:00~12:00 袖ヶ浦市役所北庁舎3階中・小会議室
出席者 7名
内容: 全体会、事例検討担当、見学会の候補について等
- ・第3回 6月20日(木) 10:00~12:00 袖ヶ浦市役所北庁舎3階小会議室
出席者 7名
内容: グループスーパービジョン(事例提供: リーベル)、利用事業所情報共有等
- ・第4回 7月18日(木) 10:00~12:00 袖ヶ浦市役所北庁舎3階災害対策室
出席者 7名
内容: グループスーパービジョン(事例提供: もえ)、情報共有
- ・第5回 8月15日(木) 10:00~12:00 袖ヶ浦市役所北庁舎3階中会議室
出席者 7名
内容: グループスーパービジョン(事例提供: ケアセンターさつき)、情報共有
- ・第6回 9月10日(火) 10:00~12:00 袖ヶ浦市役所北庁舎3階災害対策室・中会議室
出席者 8名
内容: 前半の活動のまとめ、11月の交流会・12月見学会について、情報共有

3、提言

後期も月1回定期的に開催し、グループスーパービジョンを3回実施する予定。他に10月に報酬改定以降の現状や不明点等について確認する場を持つこと、11月に基幹相談支援センター主催で交流会として市内の児童のサービス提供事業所の方に来ていただき話をする場を持つこと、12月に事業所見学として君津市内の「就労継続支援A型事業所」「通所型自立訓練」に行くことを予定している。グループスーパービジョンを通し、困難なケースへの対応について意見交換を行うことやケースの報告、事業所の情報提供等を行うことで幅広いニーズに対応していけるようにしていく。市内の相談支援事業所のスキルアップが図れるように努めていきたい。

令和6年度袖ヶ浦市障害者相談支援事業所（えがお袖ヶ浦）の中間報告

1、活動実績→別紙参照。

2、計画相談について

袖ヶ浦市においては、福祉サービスを利用したい方のサービス等利用計画書を作成する相談支援専門員が慢性的に不足しており、そのため福祉サービスを利用したい方がなかなか利用ができない状況が続いている。

袖ヶ浦市障害者相談支援事業所（えがお袖ヶ浦）では、この様な方の計画相談を受け持ってくれる相談支援専門員探しをサポートしているが、近隣市においても事情は同様である。

そのため、利用したいサービス事業所が既に見つかり、事業所側でも受け入れ体制ができている状況にも関わらず相談支援専門員が見つからないことで、サービスの支給決定がされず、長期に渡って利用ができない状況にある方が増加していることが課題となっている。

令和6年9月30日現在

サービス事業所が見つかっているが相談支援専門員が見つからない	7件
今年中または今年度中にサービス利用を開始見込みだが、相談支援専門員が見つからない	5件

袖ヶ浦市障害者相談支援事業所「えがお袖ヶ浦」活動実績

○令和6年度実績(令和6年4月～令和6年9月)

	身体障害	重度心身	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳	その他	計
訪問	1	0	19	37	2	0	5	64
来所相談	8	0	59	76	16	0	14	173
同行	3	0	10	7	0	0	3	23
電話相談	12	0	25	61	7	2	10	117
電子メール	7	0	0	1	0	0	0	8
個別支援会議	20	0	62	98	8	3	29	220
関係機関	45	0	113	142	12	6	42	360
その他	0	0	1	3	0	1	2	7
計	96	0	289	425	45	12	105	972
対前年比	52	0	110	△ 16	9	10	38	203

○令和5年度実績(令和5年4月～令和5年9月)

	身体障害	重度心身	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳	その他	計
訪問	0	0	3	22	0	0	1	26
来所相談	5	0	32	77	6	1	21	142
同行	0	0	7	5	1	0	0	13
電話相談	8	0	28	74	4	0	9	123
電子メール	2	0	0	0	0	0	0	2
個別支援会議	16	0	65	151	18	1	28	279
関係機関	13	0	44	110	6	0	7	180
その他	0	0	0	2	1	0	1	4
計	44	0	179	441	36	2	67	769
対前年比	△ 25	0	10	115	6	△ 2	△ 8	96

【参考】

○令和4年度実績(令和4年4月～令和4年9月)

	身体障害	重度心身	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳	その他	計
訪問	1	0	2	7	0	0	1	11
来所相談	8	0	18	26	6	2	5	65
同行	0	0	4	0	0	0	0	4
電話相談	17	0	26	118	4	0	14	179
電子メール	0	0	0	0	0	0	0	0
個別支援会議	21	0	64	105	12	2	36	240
関係機関	22	0	55	69	8	0	18	172
その他	0	0	0	1	0	0	1	2
計	69	0	169	326	30	4	75	673
対前年比	46	△ 3	32	170	△ 5	3	37	280

報告・評価シート（案）

項目	【事業所記入欄】									
1 施設概要	事業者名	社会福祉法人大久保学園				人員配置	日中			
	指定日	令和3年	4月	1日	世話人		生活支援員			
	所在地	千葉県袖ヶ浦市代宿102-2					8人	6人		
	定員数（共同生活援助）	10人					(常勤換算後)	(常勤換算後)		
	定員数（短期入所）	2人					1.2人	2.1人		
	共同生活住居数	1戸					夜間			
	【住居の内訳】		【定員数の内訳】				世話人（夜間）	生活支援員（夜間）		
	大久保学園代宿第二グループホーム		10名				8人	6人		
	代宿第二グループホーム併設短期		2名				(常勤換算後)	(常勤換算後)		
	【住居名を記載】		名				1人	1人		
2 利用者状況 (令和6年6月1日 現在)	障害支援区分	人数				内訳	主な障害種別利用者人数（重複はそれぞれ記入）			
	非該当	人					身体	総数：人		
	区分1	人						主に日中GHで過ごす人数：人		
	区分2	人					知的	総数：9人		
	区分3	人						主に日中GHで過ごす人数：0人		
	区分4	3人					精神	総数：人		
	区分5	1人						主に日中GHで過ごす人数：人		
	区分6	5人					難病等	総数：人		
	合計	9人						主に日中GHで過ごす人数：人		

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
3 利用者の主な日中の活動について	<ul style="list-style-type: none"> ・ GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 <hr/> ・ 基本的には全員が日中サービス支援事業所を利用中。平日は体調不良時の対応のみ。 ・ 外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について 前項「2 利用者状況」記載の利用者のうち、外部の日中活動サービスの利用者人数： 9人 <hr/> ・ 同一法人運営の生活介護事業所への通所7名 ・ 同一法人運営の就労継続支援 B型事業所への通所1名 ・ 合同会社運営就労継続支援 B型事業所への通所1名 	<p>利用者全員が外部の日中活動サービスを利用していることは評価できます。</p> <p>今後、利用者の状態等の変化により、サービスの見直しが必要な場合は、日中活動サービスが提供できるよう適切な対応を期待します。</p>
4 利用者に対する地域生活の支援状況について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 <hr/> ・ 食事、買い物外出 ・ マザー牧場、ドイツ村等への余暇外出 ・ 秋祭り、クリスマス会、鍋パーティー等の行事の実施 <hr/> ・ 体験的利用等のニーズに対応しているか。 <hr/> ・ 体験利用としての実績はなし <hr/> ・ 将来的にグループホームの利用を希望している方については、短期入所での受け入れを実施。 	<p>定期的な外出やイベントの実施等、余暇の充実に努めている様子がかがえます。</p> <p>引き続き適正な運営に努めていただきたい。</p>
5 支援体制の確保について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか <hr/> ・ 日中、土日共に基準職員を配置し、外出や生活全般の支援に対応している。 	<p>適切な支援体制が確保されていると思われます。</p>

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価						
6 地域に開かれた運営について	<ul style="list-style-type: none"> ・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> ・家族会開催（年3回） ・地域行事参加（夏祭り、地域交流会、敬老会等） <table border="1" data-bbox="472 496 1265 644" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2" data-bbox="472 496 1265 544">・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="472 544 831 592" style="text-align: center;">受け入れ人数</td> <td data-bbox="831 544 1265 592">実 習 生： 4 人</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="831 592 1265 644">ボランティア： 人</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・千葉経済短期大学学生実習受け入れ 	・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。		受け入れ人数	実 習 生： 4 人		ボランティア： 人	<p>地域との交流も行われており、今後も継続していただきたい。</p> <p>実習生の受入も行われており、今後も継続して行われることを期待します。</p>
・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。								
受け入れ人数	実 習 生： 4 人							
	ボランティア： 人							
7 短期入所の併設について	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> ・日中活動利用者を中心に、保護者の入院・療養、冠婚葬祭等の諸事情に対応して受け入れを行っている。 <table border="1" data-bbox="472 946 1265 1090" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2" data-bbox="472 946 1265 994">・緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="472 994 1265 1090">・保護者の入院、療養のため、緊急・一時的に2名の利用者の受け入れを行った。</td> </tr> </table>	・緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。		・保護者の入院、療養のため、緊急・一時的に2名の利用者の受け入れを行った。		<p>緊急時等の受入に対応しており、評価できます。引き続き適正な運営に努めていただきたい。</p>		
・緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。								
・保護者の入院、療養のため、緊急・一時的に2名の利用者の受け入れを行った。								
8 相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について	<ul style="list-style-type: none"> ・袖ヶ浦市地域総合支援協議会、袖ヶ浦市施設連絡協議会、ネットワーク袖ヶ浦へ参加し、情報交換、連携を図っている。 	<p>今後も継続して関係機関との情報共有し、連携等が図られることを期待します。</p>						
9 その他								

報告・評価シート（案）

項目	【事業所記入欄】								
1 施設概要	事業者名	サエラ蔵波				人員配置	日中		
	指定日	令和4年	9月	1日	世話人		生活支援員		
	所在地	袖ヶ浦市蔵波3312-15					4人	12人	
	定員数（共同生活援助）	20人					(常勤換算後)	(常勤換算後)	
	定員数（短期入所）	2人					3.8人	9.2人	
	共同生活住居数	2戸					夜間		
	【住居の内訳】	【定員数の内訳】					世話人（夜間）	生活支援員（夜間）	
	サエラ蔵波1	10名					4人	12人	
	サエラ蔵波2	10名					(常勤換算後)	(常勤換算後)	
【住居名を記載】	名				3.8人	9.2人			
2 利用者状況 (令和6年6月1日現在)	障害支援区分	人数				内訳	主な障害種別利用者人数（重複はそれぞれ記入）		
	非該当	人					身体	総数：2人	
	区分1	人						主に日中GHで過ごす人数：0人	
	区分2	人					知的	総数：20人	
	区分3	人						主に日中GHで過ごす人数：0人	
	区分4	2人					精神	総数：人	
	区分5	11人						主に日中GHで過ごす人数：0人	
	区分6	7人					難病等	総数：人	
	合計	20人						主に日中GHで過ごす人数：0人	

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価
3 利用者の主な日中の活動について	<p>・GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。</p> <p>平日の日中は基本的に外部の事業所を利用している為、グループホームでは日中サービスを提供していない。しかし、精神的に不安定な際や事業所への通所が妥当ではないと判断されたときは、グループホームにて過ごして頂き、日中サービスを提供している。休日は外出等の余暇支援や社会活動への参加、促しなど行っている。</p> <p>・外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について</p> <p>前項「2 利用者状況」記載の利用者のうち、外部の日中活動サービスの利用者人数：20人</p> <p>生活介護 20人</p>	<p>利用者全員が外部の日中活動サービスを利用していることは評価できます。</p> <p>今後、利用者の状態等の変化により、サービスの見直しが必要な場合は、日中活動サービスが提供できるよう適切な対応を期待します。</p>
4 利用者に対する地域生活の支援状況について	<p>・利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。</p> <p>定期的に近隣の店舗にて日用品の購入や飲食物の購入を行い、嗜好品の購入や外出の要望があれば市街も含めて実施している。また、入居者全員で一泊旅行や外食、スポーツ大会など季節に合わせた行事も企画、実施している他、地域住民と合同でグランドゴルフ大会、交流会なども行っている。</p> <p>・体験的利用等のニーズに対応しているか。</p> <p>1人</p> <p>施設入所支援を利用していたが、本人から地域移行の希望があり体験利用を行った。</p>	<p>定期的な外出やイベントの実施等、余暇の充実に努めている様子がうかがえます。</p> <p>引き続き適正な運営に努めていただきたい。</p>
5 支援体制の確保について	<p>・日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか</p> <p>生活支援員と世話人を変則勤務で配置し、利用者の日課全般（食事、入浴、服薬など）の支援を提供している。</p> <p>その他、適宜日常相談を受け付けている。</p>	<p>適切な支援体制が確保されていると思われます。</p>

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	【市町村協議会等記入欄】 要望・助言・評価				
6 地域に開かれた運営について	<p>・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 個々の家庭状況により帰省や家族面会の機会を設け、職員からも近況報告を実施している。また、家族参加の行事を企画し、交流を図っている。 地域住民とは地域清掃や相互に招待して行う小規模イベントや地域の例大祭等で交流を図っている。</p> <p>・実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。</p> <table border="1" data-bbox="454 555 1202 655"> <tr> <td data-bbox="454 555 790 655">受け入れ人数</td> <td data-bbox="790 555 1202 603">実習生： 13 人</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="790 603 1202 655">ボランティア： 19 人</td> </tr> </table> <p>福祉系大学の実習生を積極的に行っている。 ボランティアは、余暇支援の補助等を行って頂いている。</p>	受け入れ人数	実習生： 13 人		ボランティア： 19 人	<p>地域との交流も行われており、今後も継続していただきたい。</p> <p>実習生やボランティアの受入も積極的に行われており、評価できます。今後も継続して行われることを期待します。</p>
受け入れ人数	実習生： 13 人					
	ボランティア： 19 人					
7 短期入所の併設について	<p>・地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。 都度、相談は受付しているが、ロング短期で月31日支給の方が利用しており、新規受け入れは難しい状況である。</p> <p>・緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。 上記理由の為、実際の受け入れは難しいが、お断りはしておらず、ふる里学舎蔵波、もしくは法人内で共有し緊急の受け入れを行っている。</p>	<p>法人として緊急時の受入態勢がとられていることは評価できます。</p> <p>今後も積極的な受入を期待します。</p>				
8 相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について	<p>関係のある相談支援事業所とは定期的に相談を取りながら、担当利用者の情報提供や定期的なケース会議等を実施すると共に在宅者の新規相談等も受けている。 自法人のサービス以外にも周辺の福祉サービスの情報提供をしながら、利用者や保護者から希望があった際は、他法人のサービス事業所の利用に向けて連携を取っていく。</p>	<p>今後も継続して関係機関との情報共有し、連携等が図られることを期待します。</p>				
9 その他	特になし					

第6期袖ヶ浦市障がい福祉計画及び第2期袖ヶ浦市障がい児福祉計画 における令和5年度の実績・評価について

1 国の基本指針に係る本市の目標と取組

「袖ヶ浦市障がい福祉計画(第6期)」及び「袖ヶ浦市障がい児福祉計画(第2期)」を策定するに当たっては、提供体制の確保に係る目標として、7つの「成果目標」を設定することとされています。

本市では、国の基本指針を踏まえ、県の計画と整合を図り、本計画の計画期間(令和3年度～5年度)における障害福祉サービス等及び障害児通所支援等の提供体制の確保に係る目標(成果目標)を次のとおり設定し、必要なサービス・支援等が提供される体制の整備を図ります。

成果目標

- 1 福祉施設の入所者の地域生活への移行
- 2 精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築
- 3 地域生活支援拠点等が有する機能の充実
- 4 福祉施設から一般就労への移行等
- 5 障がい児支援の提供体制の整備等
- 6 相談支援体制の充実・強化等
- 7 障害福祉サービス等の質を向上させるための取組に係る体制の構築

(1) 福祉施設の入所者の地域生活への移行

① 第6期における取組の方向性

- 入所施設等から地域生活への移行に向けて、医療機関、各種相談支援機関、グループホームを運営する事業所などと連携し、地域移行が円滑に行えるよう、また、地域での生活に移行した方が地域で自立できるよう支援を行います。
- 日中活動系サービス(生活介護、自立訓練、就労移行支援、就労継続支援、療養介護、短期入所及び地域活動支援センターで提供されるサービス)が受けられるよう、サービスの質や量の充実に努めるとともに、サービス量の確保・拡充も行います。
- 地域相談支援(地域移行支援、地域定着支援)についても、医療機関、各種相談支援機関などと連携し、引き続き支援を行います。
- 日中サービス支援型共同生活援助により常時の支援体制を確保すること等により、地域生活への移行が可能となるようサービス提供体制の確保を図ります。

② 令和5年度の実績

- ・相談支援事業所や障害福祉施設などと連携し、地域移行に向けての支援を行った。
- ・サービスの質や量の確保等に努め、希望する人が必要なサービスを受けられるよう支援した。

③ 成果指標と実績

指標	項目	目標値	実績値
		令和5年度まで	令和5年度
地域生活への移行	令和5年度末時点での地域生活移行者数	2人 (累計)	7人 (累計)
施設入所者数の削減	令和5年度末時点の施設入所者数(a)	64人	64人
	削減人数 (令和元年度末(66人)－(a))	2人	2人

④ 令和5年度における効果・課題と今後の取組

効果・課題	今後の取組
<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援事業所や施設などと連携し、施設入所から地域生活への移行をさせることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で自立ができるよう、サービスの質や量の充実に努める。 ・引き続き関係機関との連携を行い、希望する人が地域移行できる体制を整える。

(2) 精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築

① 第6期における取組の方向性

- 保健・医療・福祉の連携した支援や、住まい、社会参加、地域の助け合い、教育等が包括的に確保された地域システムの構築に向けた、保健・医療・福祉関係者による協議の場において、精神保健医療福祉体制の基盤整備の推進を図ります。また、地域生活支援の拠点づくり、地域の社会資源を最大限に活用し、提供体制の整備を図ります。
- アルコール、薬物及びギャンブル等をはじめとする依存症対策として、地域において県や医療機関など様々な関係機関と連携し、その支援を図ります。

② 令和5年度の取組

令和4年度に設置した「君津地区四市精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進連携会議」において、保健、医療、福祉等の関係者が情報共有や連携した支援について協議を行った。

③ 成果指標と実績

指標	項目	目標値	実績値
		令和5年度まで	令和5年度
精神保健医療福祉体制の基盤整備	保健・医療・福祉関係者による協議の場の設置	年2回	年3回

④ 令和5年度における効果・課題と今後の取組

効果・課題	今後の取組
<ul style="list-style-type: none"> ・精神障がいのある人の自立支援の包括的地域ケアシステムの構築について、「君津地区四市精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム構築連携推進会議」において協議し、保健、医療、福祉関係者との精神障がい福祉等に関する情報共有を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・君津地区四市精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム構築連携推進会議において、保健、医療、福祉関係に関する事業者、行政機関等関係者の連携を図り、地域移行の促進に向けた支援を進める。

(3) 地域生活支援拠点等が有する機能の充実

① 第6期における取組の方向性

○袖ヶ浦市社会福祉施設等連絡協議会や基幹相談支援センターに配置するコーディネーターと連携し、相談支援や社会資源の整備状況等、地域の実情に応じて、利用者への支援が行えるよう取組を推進します。

② 令和5年度の取組

障がい者（児）の重度化・高齢化や「親亡き後」に備えるとともに、入所施設や病院からの地域移行の促進、重度障がいにも対応することができる専門的人材の育成・確保、地域の生活で生じる障がい者（児）やその家族の緊急事態への対応に係る体制等の整備を図る観点から、地域生活支援拠点事業を開始した。

③ 成果指標と実績

指標	項目	目標値	実績値
		令和5年度まで	令和5年度
障がいのある人の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据えた地域生活支援拠点等の整備	地域生活支援拠点等の整備	1箇所	1箇所
	地域生活支援拠点等の運用状況の検証、検討	年1回	年0回

④ 令和5年度における効果・課題と今後の取組

効果・課題	今後の取組
<ul style="list-style-type: none"> 市、基幹相談支援センター及び登録事業所において、常に緊急時の対応について共通認識を図っていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 各地域に地域生活支援拠点等の機能を確保し、その機能の充実のため運用状況を検証する。

(4) 福祉施設から一般就労への移行等

① 第6期における取組の方向性

- 相談支援事業所や、公共職業安定所(ハローワーク)、商工会、特別支援学校等との連携により、一般就労への移行を推進し、障がいのある人の就労の場の確保に努めます。
- 一般就労への移行に当たり、支援が必要な人に対して中立・公平な立場で適切な情報提供を行うとともに、相談支援体制機能の充実を図ります。
- 一般就労への定着に関する支援として、農福連携や障害者就労支援施設等からの優先調達などの取組についての支援を行います。

② 令和5年度の取組

福祉施設から一般就労へ移行できるように、各種機関と連携を図るとともに、情報の提供などを行い、取組の推進を図った。

③ 成果指標と実績

指標	項目	目標値	実績値
		令和5年度	令和5年度
福祉施設から一般就労への移行	就労移行支援事業等を通じた一般就労への移行者数	8人	6人
	うち就労移行支援事業を通じた移行	6人	6人
	うち就労継続支援A型事業を通じた移行	1人	0人
	うち就労継続支援B型事業を通じた移行	1人	0人
一般就労の定着	就労移行支援事業等を通じた一般就労への移行者のうち、就労定着支援事業利用者数	4人	1人
	就労定着率80%以上の就労移行支援事業所数	8事業所	8事業所

④ 令和5年度における効果・課題と今後の取組

効果・課題	今後の取組
<ul style="list-style-type: none"> ・ 相談支援事業所やハローワーク等と連携して、就労移行への支援を行い、目標値には届かなかったものの基準となる令和元年度実績の5人からは利用者が増加した。 ・ 一般就労につながらない利用者に対してどのように支援していくか課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相談支援事業所やハローワーク等関係機関と連携を図り、引き続き福祉施設から一般就労の移行への支援に努める。

(5) 障がい児支援の提供体制の整備等

① 第2期 袖ヶ浦市障がい児福祉計画における取組の方向性

- 障がい児の地域社会への参加・包容を推進するため、保育所等訪問支援を利用できる体制について、近隣市との連携も視野に入れ、その構築を図ります。
- 主に重症心身障がい児を支援する児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所の確保について、関係機関と連携して圏域内の事業所への働きかけを行います。
- 医療的ケア児が適切な支援を受けられるよう、保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関等が連携を図るための協議の場の設置について、引き続き君津圏域4市での設置も視野に入れながら医療機関との連携を進めるとともに、相談支援事業所等におけるコーディネーターの配置を促進します。

② 令和5年度 of 取組

<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援センターの設置について、君津郡市広域市町村圏事務組合の運営する「きみつ愛児園」の今後のあり方について、君津四市で協議し、民間事業者による新たな施設整備に向けて取組を進めた。 【障がい者支援課】 ・医療的ケア児が適切な支援を受けられるように、関係機関等が連携を図るための「協議の場」について、4市で合意し、「君津圏域医療的ケア児等支援協議会」を設立した。 【障がい者支援課】 ・放課後児童クラブにおいては、14クラブ、31人の障がいのある児童を受入れた。 【子育て支援課】 ・集団保育が可能な障がいのある児童の保育について、入所希望に応じて6施設9人の障がいのある児童の受け入れを行った。 【保育幼稚園課】
--

③ 成果指標と実績

指標	項目	目標値	実績値
		令和5年度まで	令和5年度
重層的な地域支援体制の構築	児童発達支援センターの設置	1箇所 君津圏域 (1箇所 本市内)	3箇所 (1箇所)
	保育所等訪問支援を利用できる事業所数	1事業所	1事業所
主に重症心身障がいのある児童への支援	当該児童発達支援事業所数	1事業所 君津圏域を基本	3事業所 君津圏域を基本
	当該放課後等デイサービス事業所数	1事業所 君津圏域を基本	3事業所 君津圏域を基本
医療的ケア児支援	医療的ケア児支援のための協議の場の設置	1箇所	1箇所
	医療的ケア児等に関するコーディネーターの配置人数	1人	2人

④ 令和5年度における効果・課題と今後の取組

効果・課題	今後の取組
<ul style="list-style-type: none"> • 老朽化が進む児童発達支援センター「きみつ愛児園」の今後のあり方について、君津圏域で協議し、民間事業者による新たな施設整備に向けて取組を進めた。【障がい者支援課】 • 「君津圏域医療的ケア児等支援協議会」を設立し、関係機関等との連携を図るための体制を整えることができた。【障がい者支援課】 • 放課後児童クラブに専門の支援員を配置し、障がい児を受け入れた。【子育て支援課】 • 保育所では、集団保育が可能な障がい児について受け入れができた。【保育幼稚園課】 • 保育施設での医療的ケア児の受け入れについては、看護師の配置などの体制が整っていないことから難しい状況となっている。【保育幼稚園課】 	<ul style="list-style-type: none"> • 児童発達支援センター「きみつ愛児園」について、新たな施設整備に向けて取組を進めていく。【障がい者支援課】 • 君津圏域医療的ケア児等支援協議会において、医療的ケア児等が適切な支援が受けられるように連携して取組を進めていく。【障がい者支援課】 • 放課後児童クラブでの障がい児受け入れについて、継続して実施していく。【子育て支援課】 • 保護者や関係機関と連携しながら、引き続き、集団保育が可能な障がい児の保育施設への入所の受け入れを実施する。【保育幼稚園課】 • 保育施設での医療的ケア児の受け入れについては、国・県・他市町村の動向も踏まえながら、受け入れ体制の整備に向けた検討を進めていく。【保育幼稚園課】

(6) 相談支援体制の充実・強化等

① 第6期における取組の方向性

- 相談支援に関して指導的役割を担う人材である相談支援専門員等の計画的な確保について、相談支援の中核機関である基幹相談支援センターや、公共職業安定所(ハローワーク)、商工会などと連携し、支援を行います。
- 基幹相談支援センターと連携した、福祉に関する問題について相談に応じる体制の整備を図ります。
- サービス等利用計画の作成を含めた相談支援を行う人材の育成支援や、個別事例における専門的な指導や助言などを行い、障がいのある人の各種ニーズに対応する相談支援体制の構築の更なる充実を図ります

② 令和5年度 of 取組

基幹相談支援センターとの連携により、地域の相談支援体制の強化の取組や地域移行・地域定着の促進の取組、関係機関とのネットワークづくりの構築の取組を行った。

③ 成果指標と実績

指標	項目	目標値	実績値
		令和5年度まで	令和5年度
総合的・専門的な相談支援	障がいの種別や各種のニーズに対応できる総合的・専門的な相談支援実施箇所数	1箇所	1箇所
地域の相談支援体制の強化	地域の相談支援事業者に対する訪問等による専門的な指導・助言件数	年12件	年13件
	地域の相談支援事業者の人材育成の支援件数	年3件	年2件
	地域の相談機関との連携強化の取組の実施回数	年8回	年3回

④ 令和5年度における効果・課題と今後の取組

効果・課題	今後の取組
<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者等が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう支援するため、基幹相談支援センターにおいて、障害全般の相談支援から、相談支援事業所への助言や連携強化に取り組んだ。しかし、目標に対して未達成なことから、今後も積極的な取組を進める必要がある。 ・相談支援従事者研修の受入を行うなど、人材育成の取組を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域における相談支援の中核的な役割を担う相談窓口として、地域の相談支援体制の強化の取組や権利擁護のための必要な援助、連携強化の取組などを推進する。

(7) 障害福祉サービス等の質を向上させるための取組に係る体制の構築

① 第6期における取組の方向性

- 県が実施する障害福祉サービス等に係る研修その他の研修に関し、積極的に参加し障害福祉サービスに関する理解に努め、その提供が適切に行われるよう取り組みます。
- 「障害者自立支援審査支払等システム」等による審査結果を分析し、その内容を事業所や関係自治体等と共有することにより、適切な障害福祉サービスが提供されるよう体制の構築を図ります。

② 令和5年度の取組

<ul style="list-style-type: none"> ・各種研修に積極的に参加した。 ・「障害者自立支援審査支払等システム」等による審査結果を分析し、課題について相談支援事業所と共有し、障がい福祉サービスの質の向上につなげるための意見交換を行った。
--

③ 成果指標と実績

指標	項目	目標値	実績値
		令和5年度まで	令和5年度
障害福祉サービス等に係る各種研修の活用	県が実施する障害福祉サービス等に係る研修その他の研修への市職員の参加人数	年10人	年7人
「障害者自立支援審査支払等システム」による審査結果の共有	事業所や関係自治体等と共有する回数	年1回	年1回

④ 令和5年度における効果・課題と今後の取組

効果・課題	今後の取組
<ul style="list-style-type: none"> ・県が実施する障害福祉サービス等に係る各種研修を活用することで、障がい福祉サービス等の質の向上に努めた。しかし、目標に対しては未達成なことから、今後も積極的な参加を進めたい。 ・審査結果を分析し、各相談支援事業所が抱える課題について、他の相談支援事業所と情報共有をすることで、適切な障害福祉サービスの提供につながった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種研修に積極的に参加し、障がい福祉サービスの適切な提供に努めます。 ・審査結果を分析し、事業所や関係自治体等と共有することにより、適切な障害福祉サービスが提供されるよう体制の構築を図ります。

(8) 障がい福祉サービス等の活動指標について

第6期袖ヶ浦市障がい福祉計画における、各種障がい福祉サービスの計画に対する実績は、以下のとおりです。

障害福祉サービス		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			実績	実績	見込量	実績
訪問系サービス	居宅介護	時間/月	1,650	1,610	1,812	1,619
		実人/月	87	93	111	106
	重度訪問介護	時間/月	518	517	525	690
		実人/月	4	3	5	3
	行動援護	時間/月	8	6	20	7
		実人/月	1	1	1	1
	同行援護	時間/月	157	160	311	152
		実人/月	12	11	14	9
	重度障害者等包括支援	時間/月	0	0	0	0
		実人/月	0	0	0	0
訪問系計	時間/月	2,333	2,293	2,668	2,468	
	実人/月	104	108	131	119	
	平均利用時間	22	21	20	21	
日中活動系サービス	生活介護	延人日/月	3,267	3,360	3,213	3,398
		実人/月	176	177	192	188
	自立訓練（機能訓練）	延人日/月	22	8	60	18
		実人/月	5	2	10	3
	自立訓練（生活訓練）	延人日/月	120	81	17	70
		実人/月	9	5	1	6
	就労移行支援	延人日/月	237	328	251	237
		実人/月	30	31	35	24
	就労継続支援（A型）	延人日/月	531	480	543	377
		実人/月	32	32	46	23
	就労継続支援（B型）	延人日/月	1,760	2,047	1,575	2,286
		実人/月	123	144	125	156
	就労定着支援	実人/月	16	17	8	16
	療養介護	実人/月	5	6	4	6
	短期入所（福祉型）	延人日/月	452	537	504	533
		実人/月	48	37	44	65
短期入所（医療型）	延人日/月	34	31	5	29	
	実人/月	2	1	1	1	
日中活動系計	延人日/月	6,444	6,895	6,180	6,970	
	実人/月	446	452	466	488	
サービス系	自立生活援助 （うち精神障がい者）	実人/月	0 (0)	1 (0)	2 (2)	4 (1)
		共同生活援助 （うち精神障がい者）	実人/月	102 (21)	116 (21)	100 (2)
	施設入所支援	実人/月	66	64	66	64
	施設系計	実人/月	168	181	168	195
相談支援	計画相談支援	実人/月	94	111	160	120
	地域移行支援 （うち精神障がい者）	実人/月	1 (1)	1 (1)	3 (2)	0 (0)
	地域定着支援 （うち精神障がい者）	実人/月	0 (0)	0 (0)	2 (2)	0 (0)
	相談支援計	実人/月	95	112	165	120

(9) 地域生活支援事業の活動指標について

第6期袖ヶ浦市障がい福祉計画における、地域生活支援事業の計画に対する実績は、以下のとおりです。

地域生活支援事業	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
		実績	実績	計画	実績
(1) 理解促進研修・啓発事業	実施の有無	有	有	有	有
(2) 自発的活動支援事業	実施の有無	有	有	有	有
(3) 相談支援事業					
①障害者相談支援事業	実施箇所数	2	2	2	2
基幹相談支援センター	設置の有無	有	有	有	有
②基幹相談支援センター等機能強化事業	実施の有無	有	有	有	有
③住宅入居等支援事業	実施の有無	無	無	無	無
(4) 成年後見制度利用支援事業	実人/年	6	3	8	0
(5) 成年後見制度法人後見支援事業	実施の有無	有	有	有	有
(6) 意思疎通支援事業（コミュニケーション支援事業）					
①手話通訳者・要約筆記者派遣事業（実利用見込件数）	実人/月	4	6	23	9
②手話通訳者設置事業（実設置見込者数）	設置見込者数	1	1	1	1
(7) 日常生活用具給付等事業					
①介護・訓練支援用具	件/年度	5	4	4	1
②自立生活支援用具	件/年度	10	6	8	5
③在宅療養等支援用具	件/年度	12	12	14	9
④情報・意思疎通支援用具	件/年度	17	16	12	8
⑤排泄管理支援用具	件/年度	1,202	1,292	1,490	1,152
⑥居宅生活動作補助用具（住宅改修費）	件/年度	2	0	1	0
(8) 手話奉仕員養成講座事業（実養成講習修了見込者数）	実人/年	0	1	1	0
(9) 移動支援事業	実施箇所数	14	14	22	16
	実人/月	25	29	35	20
	時間/月	172	180	300	166
(10) 地域活動支援センター機能強化事業					
地域活動支援センター(Ⅰ型)	実施箇所数	1	1	1	1
	実人/月	90	75	78	91
地域活動支援センター(Ⅱ型)	実施箇所数	3	2	3	2
	実人/月	3	2	3	2
地域活動支援センター(Ⅲ型)	実施箇所数	3	4	6	3
	実人/月	10	7	13	10
(11) その他の事業					
①訪問入浴サービス事業 （移動入浴車の派遣）	実人/月	6	5	4	7
	延人日/月	158	140	115	145
②知的障害者職親委託制度	実施の有無	無	有	有	有
③日中一時支援事業	実人/月	31	40	45	51
	延人日/月	490	313	335	324
④自動車運転免許取得費・自動車改造費助成事業	実施の有無	有	有	有	有
⑤ペアレントトレーニングやペアレントプログラム等の支援プログラム等の受講者数	実人/年	0	0	5	0
⑥ペアレントメンターの人数	実人数	0	0	2	0
⑦ピアサポートの活動への参加人数	実人/年	0	0	3	0

(10) 障がい児支援事業の活動指標について

第2期袖ヶ浦市障がい児福祉計画における、障がい児支援事業の計画に対する実績は、以下のとおりです。

障害福祉サービス	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
		実績	実績	見込量	実績
児童発達支援	延人日/月	754	861	575	1,093
	実人/月	92	95	74	113
医療型児童発達支援	延人日/月	0	0	0	0
	実人/月	0	0	0	0
放課後等デイサービス	延人日/月	1,604	1,785	1,251	1,879
	実人/月	144	159	156	163
保育所等訪問支援	延人日/月	3	7	10	15
	実人/月	3	6	10	23
居宅訪問型児童発達支援	延人日/月	0	0	0	1
	実人/月	0	0	0	1
障害児相談支援	実人/月	55	53	75	60
医療的ケア児に対する関連分野の支援を調整するコーディネーターの配置人数	実人	0	0	1	2